

大洗町第6次総合計画に基づく令和3年度事業評価 評価一覧

政策4
大洗の未来を担う人材を育てるまちづくり

(R5.2月末時点)

施策No.	施策名	施策No.	重点	具体的な取組み	評価	担当課
4-1	幼児期の教育・保育の推進	4-1-1	○	保育環境の充実	B	子ども課
		4-1-2		保幼少連携による幼児期の教育の質の向上	B	子ども課
		4-1-3		学童保育内容の充実	B	子ども課
		4-1-4	○	切れ目のない親と子への健康支援	B	子ども課
		4-1-5	○	子育て世帯への支援体制の充実	B	子ども課、住民課
		4-1-6		児童虐待防止の推進	B	子ども課
4-2	知・徳・体が調和した特色ある教育の推進	4-2-1		豊かな人間性を培う教育の推進	B	学校教育課
		4-2-2	○	確かな学力を身につける教育の推進	B	学校教育課
		4-2-3		健やかな心と体を育む教育の推進	B	学校教育課
		4-2-4		小中連携教育の推進	B	学校教育課
		4-2-5	○	社会の変化に対応した教育の推進	B	学校教育課
4-3	学校・家庭・地域の連携と協働による安心して学べる環境の整備	4-3-1	○	学校・家庭・地域との連携・協働	B	学校教育課
		4-3-2		信頼・尊敬される教員の育成	B	学校教育課
		4-3-3		学習環境の整備と学校組織運営の改善	B	学校教育課
		4-3-4	○	いじめ・不登校等への対策と安全確保	B	学校教育課
		4-3-5	○	すべての子どもたちへの学習機会の確保	B	学校教育課
4-4	生涯学習活動の推進	4-4-1	○	社会教育の推進	B	生涯学習課
		4-4-2	○	青少年の健全育成	C	生涯学習課
		4-4-3	○	スポーツ・レクリエーション活動の推進	C	生涯学習課
		4-4-4	○	指導者・団体の育成、強化	C	生涯学習課
		4-4-5	○	芸術文化活動の充実	B	生涯学習課
		4-4-6	○	文化団体の活動の推進・支援	B	生涯学習課
4-5	歴史資源の保存と活用	4-5-1	○	史跡磯浜古墳群の整備	B	生涯学習課
		4-5-2	○	大洗遺産の認定	C	生涯学習課
		4-5-3		文化財の保護活用	B	生涯学習課
		4-5-4	○	歴史文化の普及	B	生涯学習課

第6次大洗町総合計画 事業評価シート

施策番号	施策名	担当課
4-1	幼児期の教育・保育の推進	こども課、住民課

	施策 No.	目標及び指標	基準値 (令和2年)	参考値 (令和3年度末)	目標値 (令和6年)
KGI	-	町内の保育環境に対する満足度	44.3%	-	50.0%
KGI	-	子育て世帯への支援体制の充実に対する満足度	65.1%	-	70.0%
KGI	-	大洗町で、今後も子育てをしていきたいと思う方の割合	62.7%	74%	90.0%
KPI	4-1-1	保育所等の待機児童数	0人	0人	0人
KPI	4-1-4	産後、退院してからの1ヵ月程度、助産師や保健師等からの指導ケアを十分に受けることができた方の割合	88%	91%	95%
KPI	4-1-4	子どもに対して育てにくさを感じている方のうち、相談先を知っているなど何らかの解決方法を知っている方の割合	71%	81%	90%
KPI	4-1-5	ひとり親世帯への相談会の開催	新規設定	0回/年	3回/年
KPI	4-1-5	小児医療費自己負担	無料	無料	無料

施策の内容ごとの取組と方向性及び評価(A~D)			評価
4-1-1	保育環境の充実	こども課	B
取組内容や 今後の方針	働き方改革等により多様な保育ニーズが求められており、延長保育事業等の実施により、保育環境の整備を図っている。 今後も、利用者の声に耳を傾けながら保育環境の充実に努めていく。また、少子化を見据えた今後の保育環境の在り方については、関係機関と協議をしながら引き続き、慎重に検討を進める。		
4-1-2	保幼小連携による幼児期の教育の質の向上	こども課	B
取組内容や 今後の方針	保幼小連携においては、要保護児童対策地域協議会において、情報交換等を行い、町内幼稚園、保育園、小学校の連携を図った。 今後も、情報交換の場の創出並びに研修会等の開催について検討し、引き続き保幼小の連携による教育の質の向上について推進していく。		
4-1-3	学童保育内容の充実	こども課	B
取組内容や 今後の方針	学童保育については、民間学童保育施設と連携を図りながら業務を遂行しており、「待機児童ゼロ」を継続している。今後も引き続き、待機児童ゼロとなるよう、連携を推進していく。 また、支援員の確保及び専門知識を兼ねそなえた専門員の配置については、今後も研修会等を活用し、人材育成等を進めていく。		
4-1-4	切れ目のない親と子への健康支援	こども課	B
取組内容や 今後の方針	子育て世帯包括支援センター業務及び母子保健業務がこども課に編入されたことにより、妊娠期から支援を必要とする親子に対して、切れ目のない支援が可能となった。 今後も、関係機関との連携を図りながら、問題の早期発見や早期対応のできる支援体制の推進を図る。		

(次のページへ続く)

施策の内容ごとの取組と方向性及び評価(A～D)		評価
4-1-5	子育て世帯への支援体制の充実 こども課、住民課	B
取組内容や今後の方針	「親子ふれあいセンターきらきら」を拠点とし、子育ての不安解消と虐待防止を図るため、子育てに関する情報の発信や親同士の情報交換の場となるよう、イベントの開催等に努めた。また、県の医療福祉制度について町独自で対象を拡大する、18歳までの小児医療費・自己負担無料化について、引き続き制度を維持した。 今後、「ひとり親世帯への相談会」について、会場を設定するのか個別訪問とするのかや、対面実施又はオンライン実施など、開催方法等について協議を進め、次年度の相談会開催を目指す。	
4-1-6	児童虐待防止の推進 こども課	B
取組内容や今後の方針	児童虐待防止を図るため、令和4年4月からの「子ども家庭総合支援拠点」の設置に向け、調整を行った。また、子育て世帯包括支援センター業務及び母子保健業務がこども課に編入されたことにより、相談体制が一歩本質化され、これまでよりスピード感を持った対応が可能となった。 今後、県及び関係機関との連携を強化しながら、児童虐待防止に向けた取り組みを推進していく。	

審議内容(委員意見や質疑内容など)	
4-1-1	委員:利用者の声に耳を傾けるとあるが、アンケートなどを実施しているのか。 担当:現在は行っていないが、今後、実施する予定である。 委員:少子化を見据えた今後の保育環境のあり方について、具体的には町営の第一保育所の今後についてだと思うが、どのように考えているのか。 担当:今現在48名の児童がおり、来年度の募集に対しても申し込みが来ていることから、すぐに廃止といったことは考えていない。しかしながら、少子化の進行と町内民間保育園のキャパシティを考えると、将来に向けた方向性を定める必要性は認識している。
4-1-5	委員:「ひとり親世帯への相談会」について、もっとフランクで相談しやすくなるよう、ネーミングを再考してほしい。交流会といった形でも良いと思う。 担当:ネーミングについては、今後考えていく。 委員:KPIとしている相談会の開催回数について、集団での相談会を行うのであれば3回でも良いが、集団相談会を実施してもあまり人が来ないのではないかと思う。かといって、小さく、例えば個別で実施する場合には、目標値の3回は少ないように思うが、担当課としてはどう考えるか。 担当:目標値については、計画を策定する際に新たな取組としてスタートしてみようといった考えから設定している。現在、LINEでも個別相談を受け付けているため、どちらかだけにするのではなく、対面式での相談会の開催とLINEでの個別対応の両方を進めることで、子育て世帯への支援体制の充実を図っていきたい。 委員:LINEでの相談実績はどの程度あるのか。また、どういった内容が多いのか。 担当:週に10件程度の相談がある。内容としては、子育てに関する心配事だけでなく、日常や家庭での不満といった愚痴のようなものもある。こちらでは、話を聞きつつ、子育て支援センターきらきらでこういったイベントがあるから、よかったですら息抜きにどうぞ、といったような案内もしている。

第6次大洗町総合計画 事業評価シート

施策番号	施策名	担当課
4-2	知・徳・体が調和した特色ある教育の推進	学校教育課

	施策 No.	目標及び指標	基準値 (令和2年)	参考値 (令和3年度末)	目標値 (令和6年)
KGI	-	学校が楽しいと感じる児童生徒の割合	小学校 96.5% 中学校 81.1% (令和元年度)	小学校 89.4% 中学校 82.5%	小学校 97.0% 中学校 85.0%
KGI	-	夢や目標に向かって努力している児童生徒の割合	小学校 88.0% 中学校 77.2% (令和元年度)	小学校 84.2% 中学校 75.4%	小学校 90.0% 中学校 80.0%
KPI	4-2-2	全国学力・学習状況調査標準化得点	全国平均以下	全国平均以下	全国平均以上
KPI	4-2-2	小学校で年間 50 冊、中学校で年間 30 冊以上本を読む児童生徒の割合	小学校 82.4% 中学校 5.1%	小学校 85.1% 中学校 4.1%	小学校 85.0% 中学校 10.0%
KPI	4-2-5	大洗町郷土テキスト「大洗道」スタンプラリー達成率	新規設定	-	50.0%

施策の内容ごとの取組と方向性及び評価(A~D)			評価
4-2-1	豊かな人間性を培う教育の推進	学校教育課	B
取組内容や今後の方針	<p>読書活動の推進として、県の表彰の他、町独自の表彰規定を設定し、児童の読書に対する意欲の向上を図った。また、地域の方々による立哨指導でのあいさつ運動や教育委員会で作成した「大洗町新型コロナウイルス感染症対応マニュアル」における、コロナ陽性者等への配慮事項の記載等による人権教育により、豊かな人間性を培う教育の推進に努めた。</p> <p>今後も、多様な体験や読書活動の推進、あいさつをはじめとする生活習慣の推進により、児童生徒の豊かな人間性の育成を図る。</p>		
4-2-2	確かな学力を身につける教育の推進	学校教育課	B
取組内容や今後の方針	<p>児童生徒が確かな学力を身に付けられるよう、少人数指導及び個別指導の推進により、基礎基本の確実な定着を促し、KPIである全国学力・学習状況調査標準化得点の改善を図るとともに、大洗イングリッシュクラブやサイエンスカレッジ等、子どもたちの学習意欲の高まるような取り組みを推進した。また、特別支援員や社会人TTの配置により、配慮を必要とする児童生徒への個別対応が可能とするなど、学校内での学習支援の充実を図った。</p> <p>今後も、配慮が必要な児童生徒も含め、すべての児童生徒が確かな学力を身につけることができるよう、計画的な学びの体制の充実を図る。</p>		
4-2-3	健やかな心と体を育む教育の推進	学校教育課	B
取組内容や今後の方針	<p>学校給食において、町内でとれた農水産物を積極的に使用するとともに、栄養教諭等による「食育(食に関する教育)」の実施により、児童生徒の健康の保持・増進を図った。また、小学校においては「ロング昼休み」を実施し、児童たちに、遊びの中での体力づくりや運動の楽しさを経験させるとともに、友達や教職員とのコミュニケーションの場をつくることで、健やかな心の育成を図った。</p> <p>今後も、遊びを通じた体力作りやコミュニケーションの充実、学校給食をはじめとした食育の推進により、児童生徒の健やかな心と体の育成を図る。</p>		

(次のページへ続く)

施策の内容ごとの取組と方向性及び評価(A～D)			評価
4-2-4	小中連携教育の推進	学校教育課	B
取組内容や今後の方針	小中連携として合同研修会(教科指導)を実施し、小中間での取組の共通理解を図った。また、小中 9 年間を通した生活・学習指導計画の作成と小中学校の児童生徒及び教職員の交流事業を実施し、相互理解の推進を図った。 引き続き、小中連携教育の推進に努める。		
4-2-5	社会の変化に対応した教育の推進	学校教育課	B
取組内容や今後の方針	将来の仕事について考えるキャリア教育を実施したほか、ICT教育の推進として、GIGAスクール構想による一人一台端末(タブレット)の整備を行い、授業だけでなく家庭学習での活用も推進した。また、郷土テキスト「大洗道」による郷土教育を行った。 今後も、ICT教育の推進として児童生徒及び教職員に対する情報モラル教育の充実を図るとともに、キャリア教育や郷土教育を推進し、児童生徒が社会の変化に対応できるような教育を図っていく。		

審議内容(委員意見や質疑内容など)	
4-2-2	<p>委員:KPIにある全国平均について、学年としては何年生が対象か。 担当:小学校6年生及び中学校3年生が対象となる。</p> <p>委員:4-2-5の取組内容にICT教育についての記載があるが、4-2-2の取組内容にもICT教育について記載しないのか。 担当:教育分野の施策に関しては、ICT教育以外にも複数分野で関連のある取り組みがあるため、次回以降評価の際には、できる限り関連する取組を記載できるよう考えていく。</p>
4-2-5	<p>委員:キャリア教育について、小学校と中学校でどういった取り組みをしているのか。 担当:小学校では、商店街や漁協などに協力いただき、主に商業体験や漁業体験といった体験活動を実施している。中学校では特別な取組は行っていないが、小学校での体験をもとに、進路指導などで将来について考える機会を設けている。</p> <p>委員:「大洗道」について、対象となる学年は。 担当:小学校4年生から6年生である。</p>

第6次大洗町総合計画 事業評価シート

施策番号	施策名	担当課
4-3	学校・家庭・地域の連携と協働による安心して学べる環境の整備	学校教育課

	施策 No.	目標及び指標	基準値 (令和2年)	参考値 (令和3年度末)	目標値 (令和6年)
KGI	-	安心して子供を育てられる環境が整っている と思う保護者の割合	89.0%	93.9%	90.0%
KGI	-	既存組織の再編による学校運営協議会の設置	4校	0校	4校
KPI	4-3-4	不登校出現率	小学校 0.74% 中学校 3.32%	小学校 0.45% 中学校 3.02%	小学校 0.67% 中学校 2.99%
KPI	4-3-4	いじめの解消率	100.0%	100.0%	100.0%
KPI	4-3-5	端末を自宅学習に活用した児童生徒の割合	0%	89.0%	100.0%

施策の内容ごとの取組と方向性及び評価(A~D)			評価
4-3-1	学校・家庭・地域との連携・協働	学校教育課	B
取組内容や 今後の方針	児童生徒の安全確保のための保護者による立哨や、地域の方々を講師として招き実施したキャリア教育など、保護者や地域の方々(交通安全推進団体、商店街、漁協等)と連携・協働した取り組みを図った。 コロナ禍においては、学校外部の人材の活用が難しい状況ではあるが、今後も家庭や地域と連携した取り組みを推進していく。		
4-3-2	信頼・尊敬される教員の育成	学校教育課	B
取組内容や 今後の方針	町教育委員会による教職員の資質・能力の向上を図る「若手教員研修」等の実施を行った。 今後は、校務事務のシステム化等による事務作業の効率化を図り、教職員が子どもと向き合う時間の確保と環境づくりを進める。		
4-3-3	学習環境の整備と学校組織運営の改善	学校教育課	B
取組内容や 今後の方針	各校において作成した全体構想に基づく活力ある学校づくりを推進したほか、学校との連携により、児童生徒の安心・安全な学校環境整備(点検と迅速な対応)を図った。 今後、防災担当課と連携し、避難場所としての対応と環境整備について協議を進めるとともに、コミュニティシンボルとしての活用方法についても検討していく。		
4-3-4	いじめ・不登校への対策と安全確保	学校教育課	B
取組内容や 今後の方針	不登校児童生徒への対応として、教育支援センターの活用や教育支援センター研修員のアウトリーチ型対応の実施を積極的に行った。また、いじめの早期発見(毎月のアンケート調査と対応、スクールカウンセラーの活用)に努めた。		
4-3-5	すべての子どもたちへの学習機会の確保	学校教育課	B
取組内容や 今後の方針	コロナ禍における臨時休校の際には、各学校において「家庭でのオンライン授業」・「家庭でのプリント学習」・「学校での授業」を設定し、各家庭の状況に対応した学習形態の選択ができるようにすることで、すべての児童生徒の学習機会の確保に努めた。 また、中学校3年生を対象にした放課後チャレンジ教室の実施により、誰もが受験に向けて積極的に学習ができる機会を設けた。 今後も、すべての児童生徒の学習機会が確保されるよう、取組を進めていく。		

審議内容(委員意見や質疑内容など)	
4-3-3	<p>委員:学校環境整備とあるが、ハード面だけの話か 担当:ハード整備が主となる。</p>
4-3-4	<p>委員:アンケート調査は児童に実施しているのか。アンケートに出てこない事案もあるのではないか。 担当:アンケートは、児童を対象に毎月実施している。アンケートには上がってこない事案もあるが、まずはアンケートで上がってきたものに対し、早期に対応している。</p> <p>委員:保護者から聞いた話だが、児童生徒でトラブルがあった際に、学校が保護者を早いタイミングで呼ぶといった話を聞いている。保護者に声をかけるタイミングはどうしているのか。 担当:事案によって異なるが、状況を確認し、必要になれば保護者に連絡するよう心掛けている。</p> <p>委員:不登校について、教育センターに通所している児童生徒は現在何名程度いるのか。 担当:中学校で3名おり、相談に来る生徒もいる。小学校では0名である。</p>
4-3-5	<p>委員:放課後チャレンジ教室について、場の提供だけか。指導する先生もいるのか。 担当:勉強する場として教室を開放するだけでなく、学習指導のできる外部講師を雇用している。</p> <p>委員:運用形態の変更について検討しているといった説明があったが、利用が少ないのか。 担当:多くの生徒に活用されているが、その結果、教員の負担が増加傾向にある。実施日時や時間の変更など、より良い運用方法について検討を進めている。</p> <p>委員:令和3年度末のKPI数値89.0%について、どういった場面の数値なのか。 担当:緊急事態宣言などで登校制限があった期間も含め、児童生徒が自宅学習にタブレット端末を活用した割合である。</p> <p>委員:緊急事態宣言などの特殊な状況下については、今後、数値から除くよう検討を願う。</p>

第6次大洗町総合計画 事業評価シート

施策番号	施策名	担当課
4-4	生涯学習活動の推進	生涯学習課

	施策 No.	目標及び指標	基準値 (令和2年)	参考値 (令和3年度末)	目標値 (令和6年)
KGI	-	社会教育の推進に対する住民満足度	21.2%	-	42.0%
KGI	-	成人の週1日以上スポーツ実施率	45.4%	-	55.0%
KGI	-	芸術文化の振興に対する住民満足度	19.6%	-	40.0%
KPI	4-4-1	公民館講座受講者数	144人/年	126人/年	250人/年
KPI	4-4-2	家庭教育に関する講演会への参加者	46人/年 (令和元年度)	50人/年	60人/年
KPI	4-4-3	スポーツイベントの年間参加者数	4,000人/年	302人/年	4,500人/年
KPI	4-4-4	プロスポーツチームとの交流イベント数	毎年度開催	3回/年	3回/年
KPI	4-4-5	老若男女が堪能できる演目を企画する	2回/年	3回/年	4回/年
KPI	4-4-6	体験講座等を開催し、文化団体への新規加入を促す	新規設定	1回/年	毎年度開催

施策の内容ごとの取組と方向性及び評価(A~D)			評価
4-4-1	社会教育の推進	生涯学習課	B
取組内容や 今後の方針	新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、公民館講座等を継続的に開催することで、住民の学習機会・交流機会の確保を図った。また、利用者の利便性の向上及び新型コロナウイルス感染症対策として、中央公民館図書室に図書管理システムを導入した。今後も、多様化する学習ニーズに応えるため、住民の幅広い学習活動を支援していく。		
4-4-2	青少年の健全育成	生涯学習課	C
取組内容や 今後の方針	新型コロナウイルス感染症の影響により、様々な事業が制限・中止とはなっているが、学校・地域等が連携し情報を共有しながら青少年の健全育成を図った。また、家庭教育については、合同講演会の実施や家庭教育学級での取組みを推進し、教育の出発点である家庭教育の支援を図った。 引き続き、青少年の健全育成を図るため、各種の取組みを推進していく。		
4-4-3	スポーツ・レクリエーション活動の推進	生涯学習課	C
取組内容や 今後の方針	新型コロナウイルス感染症の影響により、ほとんどの町主催スポーツイベントは実施が難しい状況であったが、その中でも、町内児童生徒を対象とした夏休みの水泳教室や、水戸ホーリーホックと連携した大洗の日イベントなど、町民がスポーツに親しむ機会の創出に努めた。 今後は、with コロナとして感染症対策を講じながら、各種スポーツイベントが実施できるよう、関係団体との調整を進め、町民のスポーツ実施率の向上を推進していく。		

(次のページへつづく)

施策の内容ごとの取組と方向性及び評価(A~D)		評価
4-4-4	指導者・団体の育成、強化	生涯学習課
取組内容や今後の方針	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、団指導者の資格取得の場である指導者講習会や団員勧誘の場であるスポーツ少年団フェスティバルは開催できなかったが、チラシの配布などにより、指導者や団員の発掘に努めた。また、プロスポーツチームである水戸ホーリーホックと連携した大洗の日イベントを実施し、町民がプロスポーツに親しむことのできる機会の創出に努めた。</p> <p>今後は、指導者講習会への積極的な参加を促すような案内や、スポーツ少年団フェスティバルの実施のほか、HPやデジタルサイネージなどを活用し、総合的にスポーツ団体の育成・強化を図っていく。また、町主催のスポーツイベントへプロスポーツ選手を誘致し、多くの子供たちにスポーツへの憧れをもってスポーツを好きになってもらえるよう、取組を推進していく。</p>	C
4-4-5	芸術文化活動の充実	生涯学習課
取組内容や今後の方針	<p>新型コロナウイルスの影響により、子どもたちを対象にした「芸術鑑賞の集い」などの一部事業は実施できなかったが、感染症対策を徹底したうえで、大洗音楽祭のほか、新たな取組である映画上映会や三味線演奏会を実施し、芸術文化活動の充実を図った。今後も、町民が多様な芸術文化に触れる機会の確保を図ります。</p>	B
4-4-6	文化団体の活動の推進・支援	生涯学習課
取組内容や今後の方針	<p>新型コロナウイルスの影響により、芸術文化祭をはじめとする、作品の展示会発表会といった取り組みは実施できなかった。</p> <p>今後は、芸術文化団体の活動活性化のため、大洗町芸術文化協会の会員を講師として派遣する事業の実施について取り組みを進め、団体活動の推進を図る。</p>	B

審議内容(委員意見や質疑内容など)	
4-4-1	<p>委員：図書室の学習スペースの利用について、子どもたちから何か声は挙がっているか。</p> <p>担当：特に学習スペースについて問い合わせはないが、現在のキャパシティではスペースの確保が難しいのが現状である。視聴覚室を学習スペースとして開放する取組も行ったが、利用は少なかった。図書室でも Wi-Fi 環境を整備したので学習等で活用していただきたい。</p> <p>委員：知らなければ活用できないので、今後、広報にも力を入れてほしい。</p>
4-4-2	<p>委員：合同講演会について、どういった内容のものか。</p> <p>担当：長谷川教育長が講師となり、「健やかな 大洗っ子を育てるために ~子育てって大変ですか? ~」をテーマに講演をいただいた。その後、グループに分かれてワークショップを行った。</p>
4-4-4	<p>委員：with コロナを踏まえた、新しい取り組みを始めてほしい。</p> <p>担当：今年度、各種スポーツ大会については with コロナの取組を行いながら、実施しており、マラソン大会で例を挙げると、オンライン受付・自動計測システムの導入などが挙げられる。今後も新たな取り組み等を検討していきたい。</p> <p>委員：スポーツ少年団も団員が少なくなり維持が難しい団体もある。たとえば、指導者の方が小学校に出張指導に行くなどし、団員の募集をするなどの取組も考えてほしい。</p> <p>担当：現在、検討中ではあるが、町内の保育園や幼稚園へ出張し、団の紹介・団員募集を行うなど考えている。今後も効果的な募集方法を検討していきたい。</p>
4-4-5	<p>委員：音楽祭について、どういった内容だったのか。</p> <p>担当：観覧を 400 名に制限し募集したところ、370 名の応募があった。また、演目については、コロナウイルスの影響により開催直前で変更があったが、本町出身のソプラノ歌手 川上茉莉絵さんと大洗高校マーチングバンド部に出演いただいた。</p> <p>委員：令和 3 年度末の KPI 数値 3 回とあるが、内容は。</p> <p>担当：音楽祭、映画上映会、三味線演奏会の 3 つである。</p>

第6次大洗町総合計画 事業評価シート

施策番号	施策名	担当課
4-5	歴史資源の保存と活用	生涯学習課

	施策 No.	目標及び指標	基準値 (令和2年)	参考値 (令和3年度末)	目標値 (令和6年)
KGI	-	磯浜古墳群の国指定数量	3基	3基	4基
KPI	4-5-1	史跡磯浜古墳群保存活用計画の策定	未策定	策定中	策定
KPI	4-5-2	大洗遺産の認定	1件	1件	2件
KPI	4-5-2	大洗遺産「磯節」の広報	2件/年	2件/年	4件/年
KPI	4-5-4	企画展・特別展入館者数	2,287人/年 (令和元年度)	1,715人/年 (令和3年度)	2,600人/年
KPI	4-5-4	博物館入館者数	4,745人/年	7,340人/年	8,000人/年

施策の内容ごとの取組と方向性及び評価(A~D)			評価
4-5-1	史跡磯浜古墳群の整備	生涯学習課	B
取組内容や今後の方針	磯浜古墳群保存活用計画の策定に取組んだほか、磯浜古墳群に関する埋蔵文化財調査報告書を作成し、坊主山古墳の磯浜古墳群への追加指定や古墳の保存整備に向けた機運の醸成を図ってきた。また、いばらき古墳旅まっぷの製作や古墳企画展の開催、SNSによる情報発信などにより、磯浜古墳群に関する案内機能の充実を図った。今後も、わが国にとって重要な史跡である磯浜古墳群の保存・整備を推進する。		
4-5-2	大洗遺産の認定	生涯学習課	C
取組内容や今後の方針	新たな大洗遺産の認定に向け、引き続き大洗町文化財保護審議会と調整を進めていく。		
4-5-3	文化財の保護活用	生涯学習課	B
取組内容や今後の方針	文化財保存活用地域計画の策定に向け、情報の収集を行った。また、埋蔵文化財については、保護のための試掘・確認・発掘調査を進めるとともに、企画展【弥生島と古墳島】やシンポジウム【茨城県の古墳】を開催し、地域資源としての活用を図った。今後も、文化財の保護活用の推進に取り組んでいく。		
4-5-4	歴史文化の普及	生涯学習課	B
取組内容や今後の方針	大洗の特産品「はまぐり」の貝殻を利用した工芸作品である貝合わせの特別展を開催し、SNS等で積極的に広報するなど、町の歴史文化の普及に努めた。今後は、開通100年を迎える水浜電車に関する特別展を企画するなど、引き続き町の歴史文化の普及に資する取組を推進していく。		

審議内容(委員意見や質疑内容など)	
4-5-3	<p>委員：文化財の保護活用について、文化財によって人を呼びたいと考えているのか。</p> <p>担当：町内外の方々に来ていただき、本町の文化財や史跡などについて、その価値を知ってほしい。</p> <p>委員：今後、活用にあたって立地条件などが課題になるのでは。特に古墳群は場所がわかりにくく、車でも訪れにくい。</p> <p>担当：駅からレンタサイクルを活用した案内などを検討する。</p>
4-5-4	<p>委員：はまぐりの貝合わせ特別展について、はまぐりは大洗の特産だが、貝合わせにも何か大洗とゆかりはあるのか。</p> <p>担当：貝合わせ作家の方が、素材となるはまぐりを探すなかで大洗町のはまぐりに出会い、その縁で今回の特別展に繋がっている。元々の貝合わせは、当時の貴族の遊びであり、大洗にゆかりのあるものではない。</p>